

わが社のIT活用  
これでいいの？

コンサルティングサービスの実態に迫る

# IT活用の成果を持続的に高めるために まずは自社のレベルを診断してみよう

日立ビジネス  
みらい創造

情報システムの専門企業である日立ビジネスソリューションでは、ITコーディネータ資格を持つ社員によるITコンサルティングセンターを開設。ここで展開される企業向けサービスの実態に迫る。

IT活用が避けて通れないのはわかっているものの、自社のIT導入はどこに注意をして何から行えばよいのか。社内から提案が上がってきた際に、どのような基準で判断をすればよいのか。経営者三者の客観的なアドバイスを求めたい。

こうした際に活用できるサービスが日立ビジネスソリューションから提供されている。昨年からの提供を開始した「ITみえる化」サービスである。

## 「ITの活用段階に応じた「みえる化」を支援

本サービスは、同社のITコーディネータ資格取得者で構成されるITコンサルティングセンターのメンバーが、ITの課題抽出、計

画・導入、運用のそれぞれの段階で（右下図参照）、客観的評価やアドバイスを提供するものだ。同社の山上幸一主任技師は「適切なIT投資によるIT経営の実現を目指す企業の持続的成長をお手伝いしたいと思います。サービスは、IT活用などの段階からでもご利用いただけます」とサービスの主旨を話す。

コンサルティングは結果が見えにくいともいわれるが、「ITみえる化」サービスでは、ITコーディネータ資格のガイドラインに沿ったフレームワークの中で、標準的なコンサルの内容や回数、そこで得られる成果としての文書テンプレートなどをあらかじめ用意している。サービスの質がコンサルタント個人に依存することなく、また成果イメージを事前に具体的

につかめるのが特徴だ。

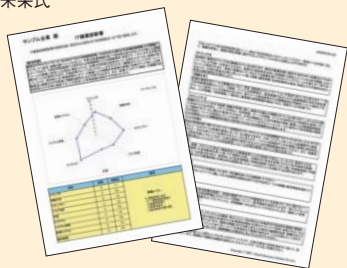
「システムの仕様を検討されているお客様にIT計画策定のお手伝いをしましたが、文書テンプレートなどサービスの内容がわかりやすいとの感想をいただきました」と瀬戸昭彦主任技師は説明する。

これまでに、現状ITの分析支援、計画的IT投資に向けたITインフラの見直し支援、経営者の思いをITに具現化する支援など、様々なサポートを行っている。

ただ、いきなりコンサルをといっても敷居が高く感じられることもあるかもしれない。日立ビジネスソリューションでは、各企業の現状認識に役立ててもらうため、広く「IT健康診断」を実施中だ。8分野75項目の質問項目のヒヤリングを元に、企業ごとのIT活用の現状をレポートする。まずは自社のレベル診断から始めてみてはいかがだろうか。



ITコンサルティングセンターのメンバー  
写真右から山上幸一氏、曾根国男氏、瀬戸昭彦氏、磯部敏之氏、葛西未来氏



IT健康診断（打ち合せ2回 8万円）で提供される「診断書」

**お問い合わせ先**  
日立ビジネスソリューション株式会社  
ITコンサルティングセンター  
神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8  
電話：045-224-6111  
URL：<http://www.b-sol.jp/it/>

### 日立ビジネス「ITみえる化」サービス例

サービス実施の流れ	打合回数
現状認識	IT健康診断 2回
↓	
課題抽出	IT課題診える化 5回
↓	
計画・導入	IT企画視える化 12回 IT導入透える化 10回
↓	
運用	IT運用看える化 3回